

令和2年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	広島大学	タイプ	A②
事 業 名	南北アフリカとの互恵的パートナーシップ構築のためのトライアングル海外学習プログラム		
海外の相手大学	カイロ大学、アスワン大学、アインシャムス大学、ベニスエフ大学、ザンビア大学、マラウイ大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、北アフリカとサブサハラアフリカをトライアングルで結ぶというユニークな枠組みの多国間の取組において、教育・保健医療・食料安全保障の専門家を育成しようとする統合的な交流が、質の保証に関する諸課題についての詳細な検討とともに明示され、これまでの貴学とアフリカ諸国の大学との豊富な実績に基づく事業と組合わされた実現性の高い計画となっており、評価できる。

学生の派遣期間は30日以上との交流が多く、プログラム参加人数も一定数設定されている中で、国際共同学位プログラムや産学連携によるインターンシップなどの具体的な検討が進んでいることは積み重ねてきた経験と実績によるものであり、十分な成果が期待できる。厳格な成績管理や質保証とともに学生による評価システムを取り入れるなど、学生の主体性を重んじる計画となっている点も特徴的である。また、地元企業や自治体との連携体制が緊密に構築されており、現地での学修や技術開発など、産学官の多様な学びの機会が提供されている点も評価できる。

一方で、修得させる能力について高い目標が設定されている点は派遣・受入学生のいずれも相当優秀な学生でないと、本プログラムへの参加が難しいような計画となっており、実現性が懸念される。特に、外国人学生のサブサハラ地域から北アフリカ地域への交流は実現の見込みが立っておらず、真のトライアングル学習が可能となるよう検討が求められる。また、達成目標として、「コンピテンシー」や「スコープ」等の様々な能力観や成果指標が提示されているが、具体的な取組みに反映させていくにあたっては、さらなる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国・地域との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。